

災害時のアスベストにご注意ください

長野県環境部水大気環境課

台風、地震等の災害により家屋等が損壊した場合、アスベスト含有建材が使用されている可能性があることから、住民や災害ボランティアの方々が家屋等の片付けをする際に、アスベストにばく露されることが懸念されます。

アスベストは、ばく露後 15～40 年程度経過後に、肺がんや中皮腫等を発症する場合があります。

県では、アスベスト飛散防止の徹底に取り組んでいるところですが、災害時のアスベストのばく露を防ぐために、災害ボランティアの皆様におかれましても、次のような点にご注意いただきますようお願いいたします。

【注意が必要な状況・作業等】

- 1 損壊した建物の屋内やその周辺で作業を行う場合。
- 2 がれき等の移動や撤去を行う場合。
- 3 解体等工事の粉じんが気になる場所に、長時間いなくてはならない場合。

【ばく露防止のための対策方法】

- 1 防じんマスクを装着する（裏面参照）。
- 2 スレート等アスベストが含まれている可能性のある建材（裏面参照）の破碎・切断等、粉じんが発生する作業は行わない。
やむを得ず、このような作業を行う場合やこれらの建材を含むがれきの移動や撤去を行う場合は、できるだけ散水し、粉じんの発生を防ぐ。
- 3 むやみに解体現場に近づかない。

【作業別防じんマスクの種類】

作業内容	呼吸用保護具（マスク）の種類
アスベスト含有建材の破碎等による除去作業	取替え式防じんマスク RS3 以上
	粒子捕集効率 99.9 %以上
アスベスト含有建材の湿潤化による手ばらし作業	取替え式防じんマスク RS2 以上
	粒子捕集効率 95 %以上
アスベスト含有建材に関わらない一般的な作業	使い捨て式防じんマスク DS2 以上
	粒子捕集効率 95 %以上

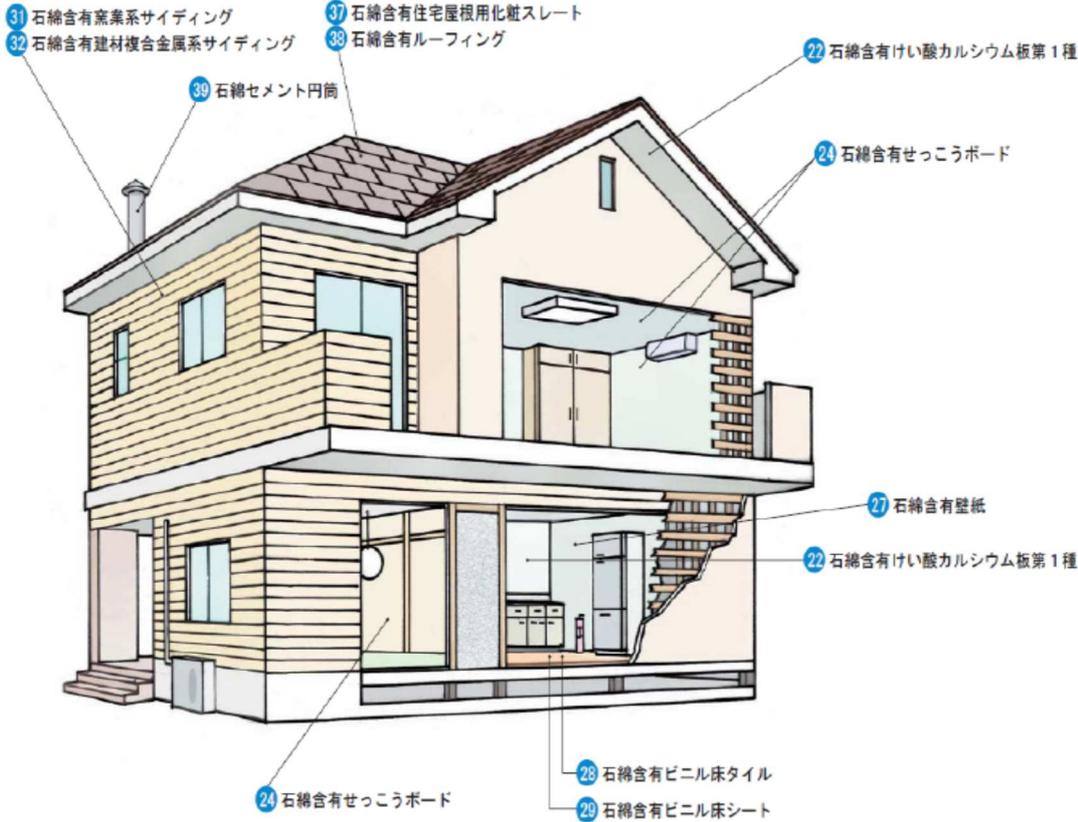
※取替え式防じんマスクは、フィルター交換式の面体で顔との密着性が高い構造のものです。

マスクに加えて、保護具又は作業着も着用するようお願いします

【お問い合わせ先】

長野県環境部水大気環境課大気保全係
電話 026-235-7177

【家屋におけるアスベスト含有建材の使用例】



出典「目で見えるアスベスト建材(第2版)」(国土交通省)
 ここで紹介した建材の他、様々な種類のアスベスト含有建材があります。
 詳細は、国土交通省ホームページ「現場におけるアスベスト建材の
 識別資料【目で見えるアスベスト建材】」をご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010425_3/01.pdf



粉じんのばく露を防ぐために

正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう 間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう
(使い捨て式防じんマスクについて「悪い例」の紹介)

- 以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。
- 厚生労働大臣の型式検定
例: DS2マスク 等
 - NIOSH規格
例: N95マスク 等
 - 欧州規格(EN149)
例: FFP2マスク 等



防じんマスクをつけた時の注意点について

- しっかりと顔に密着させましょう**

 - マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。
 - しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

 - 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
 - もし、漏れ込みが感じられた場合は
 - ①マスクの位置を調節する
 - ②しめひもの長さを調節する 等
 を行って再度確認してください

※注意事項
 ・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。
 ・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
 ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください。
 資料出典: (社)日本保安用品協会 日本呼吸用保護具工業会 スリーエムヘルシケア(株)

詳しい装着方法については、以下の環境省のホームページをご覧ください。
https://www.env.go.jp/jishin/attach/asbestos_mask-set_v2.pdf

